明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年五月十五日（土曜日）　第百九號　（一）

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

## ●俳句と美學との關係（四）

想堂

子規の撰に

滯中の暑さを妻に語りけり　　岐山

此の句は何もそれほど宜い句ではないが、句中に愛情があふれて居る、夫婦の仲の睦ましい所が見えて居る、則ち精神の善が現はれて居るので畫と成つては忽ち夫婦の形と現はれて來る所である、凡て無形の題には無形の材を取り出して讀むも又方法であるが此の句で悟れるであらう、子規の句に

暑くるしく亂れ心地や雷を聽く　　子規

此の句も主觀で風景は少しも讀でない、然しながら面白い句で、特にあつくるしくと六字に强く讀で、いかにも心がむしやくしやしてオゾンを吐く雷を聽いて淸々する所を見せたのは技術に妙を得たものである、そこで初心の人々が此樣な句を學ぶから邪道に入門してしまふので、子規翁はいつも此の如き主觀句を作つては居らぬ、現今の人々に平凡と言はるゝ樣な自然ありのまゝの句ばかり讀で居るのである、而も句調の上にかへりみられざる人に捨てられて居る自然の美を發見して讀て居る所が子規翁の長所なのである、次の句を讀で俳句とは此なるものであるかと悟りていたゞきたい。

山門や木の枝垂れて五月雨　子規
鱗散る雜魚場の跡や夏の月　同
山鳥の影うつしたる淸水かな　同
淸水の坂のぼり行く日傘かな　同
物言いて扇を人に見られけり　同
淀川の大三日月や時鳥　同
翡翠や水澄で池の魚深し　同
手の内に螢つめたき光かな　同
蟬の聲共に吹かるゝ梢かな　同
子々や松葉の沈む手水鉢　同
きら〳〵と若葉に光る午後の風　同
蘂の花や水ゆるやかに手長蝦　同

松島

涼しさや島かたふきて松一つ　同

谷中

猫の塚傳の塚や木下闇　同

古白百ケ日

蓮咲いて百ケ日とはなりに鳧　同

俳句を綴むとか、畫を作るとか、凡て技術は理窟で行くものでは無い、高山博士が不折君の畫を貶く言つたからとて博士に贊同することは出來ぬ、美學に明くつても趣味に闇ければ仕方がない、實は高山博士は一度不折君の弟子となりて畫を學だが下手で物にならぬ爲め止められたと不折君の談である、此の如く美學と技術とは同一に歩むことは出來ぬ、美學は美術に對する理想で技術は習練である、故に俳句も技術であるから習練しなくては上手にはなれぬ、理屈のみでは上手になれぬ、夫れ美學は美術の善惡を判斷するのが專一であるから美學に明いからとて俳句に上手になり畫に上手になると思ひ誤られては困る、彼の犬や猫には美術の心がない、小供は單に赤色を好むが生長して畫を好むやうになり、漸次美術の方面に向上して行く、此が動物と異る所である、故に人として美術心のないのは殆ど犬や猫に近い心であると言つても毒舌ではあるまいと思ふ、

## ●新刊紹介●

●東京經濟雜誌　本號重要記事は「日本銀行漸く利子を引下ぐ」「日糖の新重役選定」「商科大學の前途を憂ふ」「我國の保險事業」等外數種なり（一四八號十二錢東京京橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●特許公報　洋燈口金、水道用量水器、燃回ポンプ、精穀機、自在鍬等は確かに眼新らしきものなり（八號十五錢統監府特許局本町日韓書房發賣）

●時代宗教　「春を送る」「二聖の精神」「日本武士道談」「淸國實驗談」等は却々味のある文字なり（五十一號五錢東京麴町區上六番町時代宗教社）

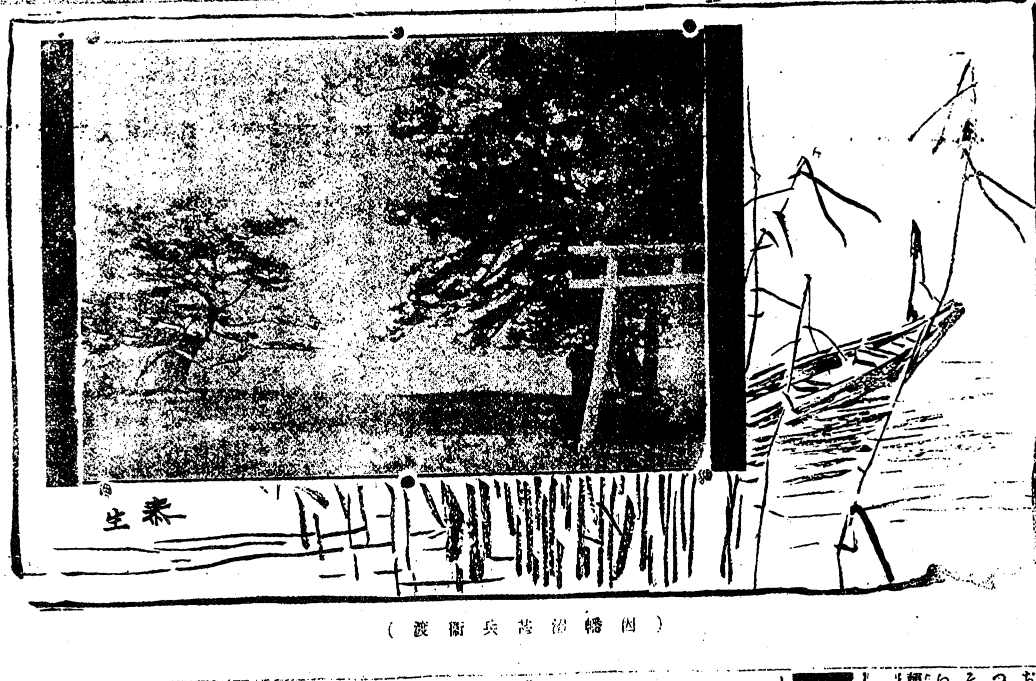
●實業の日本　依例記事賑やかに採選面白し新渡戸博士の處世訓、坂谷男の視察實感は世の青年をして感服せしむべし（十號十一錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社）



## 佐倉宗吾（八十）

眞龍齋貞水講演

源「耐らぬ所ぢやございませぬ、夫から前樣方が歸つて、密と聞いてゐると、江戸へ歸つて届ける所へ届けてやる、容子を聞けば堀田の役人は、百姓を窘めると云ふから斯う云ふ折柄、あの多賀四郎兵衛の野郎を如何にかしてやらうと云ふ相談でございました、マア私の考へぢや、其の内に御詫言をなすつて置いたら、後の御利益だらうと思ひます　四「そいつは大變だ、希かマア、お前が取計らつて、先方が嫣然笑つてくれるやうに、口を利いてくれまいか　源「そりや宜うございます、御馴染の御客樣だから一つ頼んで見ませう　四「頼うしてくれね　源「併し少しは散財しなけりや成りさうもねせ　四「それは仕方がない　源「それぢやア宜しうございます」と、二階へ登つて來ると、井筒屋五郎兵衛は、布團の上へ安座をかいて　五「マア皆なが何だ、ウンと踏張て、骨折つたから、緩り飲んでくれ　三「へ、親分の前でごせねますが、私達共は斯うやつて、酒を飲うのが何よりの樂みでごせねます、今夜は遠慮なく頂きます　五「然うよ、滿樣事でなけりや、手前達に女の一人や二人あてがつてやるんだが、マアあんな一件だから、我慢してくれ　三「そんな所ぢやごせねませぬ、酒せへ飲めば快い心持に成ります、もう一つ銚子を飲みます　五「マア殘らずで飲つてくれ、今夜は夜徹しでも構はぬ　三「エー左樣と御免が出ますれば、ツンと引ッ冠りますから、勘辨してくんなせね　權「オウ親分ッ、宿屋の主人が御來です　五「源兵衛さん何事だ　源「少々御願ひがございますが、只今下へ、最前の多賀四郎兵衛と謂ふ廻村の郡方が參りまして、御詫をしてくれろと云ふのでございます　五「ナニ、あの木像が來やがつたんだが　源「へ、御詫をしてくれろつて　六「詫をしてくれつて、唯素直に勘辨の出來るわけぢやねえ、手、親分ッ　五「フウーム……源兵衛さん何か、四郎兵衛が私へ詫をしてくれつて　源「左樣でございます　五「然うか詫をしてくれ……　源「先方が幾らか氣が注いてんでございませう　五「そりや宜うございます、私共强を挫き、弱きを扶ける公閣でございますから、勘辨してやりませう、人の座敷へ踏込んで、不禮と云つちやあ、此上ねえ不埒な野郎だ、私共上野三十六坊の御出入をしてるんだから彼樣な者に踏込まれちや穢れになるから、本來ならたゞ赦して置くんでねえが、野郎が慌てゝ、ピヨコ〳〵御辭儀をしたから、江戸へ往つて若へて見やうと打棄つて置いたが、此儘なや濟ませねえ心算だつた、併し斯う云つてお前さんに縋つて來たなら、手、宜うがす、勘辨してやりませう　源「へ希か一つ御勘辨を願ひ度うんじます、何分にも私が御願ひ致しますから、希ぞ御赦しを願ひ度ぞんじます　五「エ、宜うがす　源「それぢや米部、喚の御詫をさせますから、希か御酒に酔ひ、らねは私の方で何いたしますから、序でに御勘辨を願ひます　三「オウ兵衛さん、其樣な野郎なら、懷中ひつぱたかして仕舞ふ方が宜いから、お前の處へ來らん限り、肴を皆な出しな、腐つてる物でも何でも構はねえ、皿へ載けて出しな、俺ッ達の方で食つた心算で勘定するから　源「それは有難うございます、實は此二三日、御客が少いから、肴を少々剩して居ります、好い按排だから、皆な其肴を拂ひたいと思ひます　三「オウ、皆な持て來な、野郎驚かしてやらう」向う見ずの三次と謂ふ野郎だから耐らない、すつから注文を致しました、源兵衛は下へ降りまして料理番へ內通する、四郎兵衛は腕を組んで心配して居る所へ　源「多賀さん、大變な事でございます　四「如何なつて　源「なか〳〵先方の腹を訊いて見ると大變でございます、是の所は是で濟まして置いて、江戸へ往つて後でお前さんを引上げて、目に物見せてやらうつてんでございます、好い所へお前さん氣が注きなすつた　四「然うかい、それぢや何分頼むよ　源「就いちやね、酒肴を持つて、御土産として御詫をなさいまし　四「それは宜しいから、好い工合にやつてくれね　源「宜しうございますか　四「宜しいから頼む




（印旛沼甚兵衛渡）


廣告

マルソイド　新案屋根材料　藤原支店　京城永樂町　電話八九番

金水舍製ラム子
一 衛生無害 ラム子、ミカン水
昨年の通り純良なるラム子、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ
京城大和町二丁目
漢城製藥所長藥劑師　渡邊悅之輔

辯護士　岩田仙宗
明治町二丁目七十五番戸
電話三五四番

東洋總代理店



豫約募集
朝鮮紳士錄
本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候
京城理事廳認可
定價一部　總クロース金文字入　金五圓
豫約特價前金壹部　金參圓
申込締切期日　六月十五日
送本期日　七月十五日
登載事項　政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、敎育家、宗敎家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、敎會、寺院、協會、倶樂部、組合
發行所　京城西小門通　韓新報社
豫約申込所
本町二丁目　日韓書房
本町二丁目　林堂
新王城前　文林館
北署安洞　東書館
中署廣橋東邊　大東書館
中署罷朝橋越邊　中央書館
南大門通　義生盛號
本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓淸英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからさる要書に有之候

シガー・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・菓物カン詰類
シガレット・シヤンピン・ウ井スキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣　歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　金銀細美術品
直輸入商　京城本町二丁目　辻屋
本店　電話二四八番
支店　電話二六六番

美術半衿帯上其他組類各種
京城明治町一丁目
ゑり[illegible]商店

京城新報

# 自殺論

日本に於ける自殺は一種の迷信より來るもの多し、自己の過失より社會に對し面目を失したる場合に割腹して自殺するを武士氣質として社會は暗に稱贊し、戀愛若しくは他の余儀なき事情の爲に死するものに對しても社會は暗に同情す、要するに自殺は總ての罪障を消滅するが如き一種の迷信より來る結果なりと云ふも可也。

然るに西洋諸國に於ては自殺は重き罪惡として絶對に之を排斥す。西洋諸國に於ても時に或は自殺者なきに非ざるも、之に對して稱贊せざるのみならず、其意志の薄弱なるを憫む、是れ東西各倫理道徳の標準を異にするが爲也。人は造物主の作れるもの故に自ら其命を絶つは造物主の意に反すと云ふは西洋人の倫理思想也。

吾輩は今茲に哲學者や倫理學者に之を論せしむれば種々の議論もあるべしと雖も、余輩は斯る專門的に之を論議せんとするものに非ず、要は唯實際の社會に何れが可なりや否を論せんと欲するのみ。

熟らく思ふに日本に於ては今尚ほ自殺は是認せられつゝあり、然れども之れ封建時代思想の遺習也、封建時代に於ては社會の上流にあるものが過失あれば法律の制裁を待つことなく、社會に對し申譯の爲めに直に自殺して社會の一員たるを辭す、社會は之を武士道の精神と認めて稱揚したる也、上流社會の風は下流社會にも波及して世間に合はする面目なきとか、或は義理の柵に縛せられ、借財の爲めに戀愛の爲めにも、一死以て其難關を解決するに至れり、之は萬事罪障を消滅すると解釋したる也、是れ誤れるの甚だしきもの也、自殺は決して自己の罪障を消滅せしむる者に非ず、自殺は自己の迷惑を遺族に及ぼし、生存者の迷惑は實際に於ては自殺に依りて消滅せざる也、社會組織の進歩せる今日に於て封建時代の遺習を存するは甚だ恐るべき事とす、列國對峙の今日に於ては更に不可也、是が爲に國民的信用を失墜すること甚だし、列國人が日本の自殺に對し如何なる觀念を持し居る乎、彼等は曰く日本の倫理道徳は生命を輕ずるのみならず、自殺を是認するが如きは解す可らず、是れ無責任も甚だし、一死以て萬事を解決す對者の迷惑此上なし自殺は臆病怯懦の結果也、逢着せる困難を排除するの勇氣なき爲也と。

然り眞に意志の薄弱なるが爲也、怯懦の結果なりと云はるゝも辨解するの辭なし先年横濱平沼專藏の養子某が投機に失敗し養家に申譯なしとて耶馬溪に於て自殺せり、彼は外國商人とも取引あり、彼の自殺により外國人の迷惑したるもの少からず、當時外國商人嘆じて曰く、日本人との取引は危險也、少しく困難に遭遇すれば直に自殺す、假令生存し居れば亦償却せしむる方法もあるべきにと、而して當時は民間の外資輸入も弗々行はれ居りしが平沼某の自殺により殆ど杜絶するに至れり、何ぞ夫れ國民的信用に關する事の大なるや、戰爭に於て敵の捕虜となりたる場合に自殺するは日本兒の面目を發揮すると雖も、平時に於て自己一身の面目を保たんが爲めに自殺するは余りに無責任也、寧ろ羞恥を忍んで生存して其責任を完ふすることを男らしとすべし、自殺するものは既に精神錯亂せるもの也、精神の錯亂するに至るまでの道因を作るもあらん、錯亂する迄に至るは畢竟意志薄弱にして斷じ得ざるもの也、各人自ら意志を鞏固にすることこそ最も肝要也。或る一人が自殺を企てたるは其時に斷じ得ざりし結果なれば甚だ憐むべきものありと雖も社會としては甚だ無責任の行爲と認めざるべからず、奮鬪するの決心あらば天下何事か成らざらむや。

余輩は絶對に自殺を排す、自巳一身の苦痛を免れんが爲に自殺をなし、社會に迷惑を掛くるが如きは余りに怯懦にして無責任の仕打也、須らく自重し決死の考を以て奮鬪せざるべからず、之れ國民的信用を進取するの所以也。

## 東京電報

### ●師團長局長交迭

韓國守備隊第六師團長西島中將及外松經理局長は近く後任に讓りて豫備に編入さるゝ筈なるが後任は由良要塞司令官及陸軍中將楠瀨任命さるべく外松經理局長の後任は韓國駐剳軍經理部長遠藤愼司

### ●北海道視察

韓太子は來る八月伊藤統監を隨へ北海道を視察する由にて目下之が裁可奏請中なり（以上十四日發）

## 外報一束

●ルーズヴェルト格鬪　前大統領ルーズヴェルト父子の勇敢なる猛獸狩の有樣は目下盛に噂に上り始めたり最近の報に依ればルーズヴェルト氏は犀と格鬪して辛くも命を拾ひたりといふ此報は世人の警駭を惹起せり

●印度の大旋風　印度マラバル沿海に於て激烈なる大旋風起りカリカット港に於て船舶の沈沒せしもの四十七隻に及べり

●邦人同盟罷業　布哇日本人農業勞働者賃銀增給問題に關し十日全島に亘り同盟罷業したり領事の盡力により紛擾は無きも雇主の鼻息荒く同盟罷工は失敗に了らんと

●墺皇と梨本宮　墺多利皇帝はブタペストに於て梨本宮殿下の爲に宮廷に大晚餐會を催されたり匈牙利の政界にては梨本宮殿下のブダペスト御訪問は久邇宮殿下の維納御訪問と相竝つて非常なる興味を起さしめ且種々の政治的若くは軍事的風說行はれつゝあり

●露國首相留任　露國首相ストルイピン氏留任して內閣の動搖治り且海軍豫算も皇帝の裁可を得たりされど將來にれいて斯る議案を議會に提出せざることを命せられたり

●安徽鐵道契約　英國の某シンヂゲートは安徽鐵道會社の技師長および敷設材料を供給する契約の調印を了せしと傳へらる

## 雜報

### ●我陛下の御親電

觀光團に關し我が皇室の有難き思召しに對し過般韓皇より我　天皇陛下に謝電を發せられたることは既報の如くなるが右に對し我が　天皇陛下より十三日午後左の如き御親電來れる由

陛下の慇懃なる電報を感謝す、貴國觀光團が我國の狀況を熱心に視察せしは朕の甚だ滿足するところなり

### ●局長會議の結果

去る三日より度支部にて開會中なりし財務監督局長會議は一昨十三日を以て終了したるが其の會議に於て議定したる事項の重なるものは如左

一、新稅施行第一期の徵稅は五月なるを以て納入告知書を發すること
一、驛屯土實地調査に對する手續の打合せを爲し直ちに着手すること
一、小作人を奬勵保護すると同時に積極的に進んで保護を爲すこと
一、前項の主旨を貫徹する爲め名義上の小作人を排斥して實際の小作人に小作證書を交付する事
一、舍音を廢止する事
一、地方經濟發展の進行策

### ●國有未墾地許可

國有未墾地利用法に依り貸與又は認證を許可されたるもの左の如し

▲慶尚南道機張郡東面荒蕪地一町六畝六步（漁民宅地用）釜山西濱町二十一番地河村佐太郎
▲全北道全州郡府北四里荒蕪地二町四反七畝七步（植桑用）全北全州郡守永新三
▲黃海道長淵郡海安坊二里暮金洞草生地八町七反八畝二十九步（漁民宅地）京城南部溪井洞八統十一戶美和作次郎
▲忠南道溫陽郡東上面原野三十八町五反八畝八步（田、桑園牧場用）京城北部化坊樓入交貞吉外一名
▲忠南牙山郡二西面干潟七百四十四町八反二畝二步（田用）京城本町關繁太郎外六名
▲黃海道黃州郡三田里荒蕪地九町七反五畝十七步（水田用）黃海道黃州郡金道彬
▲慶尚道晋州郡南面干潟五十七町二反五畝九步（水田用）晋州郡城外平田昌之進外一名

### ●副統監と各局長

財務監督局長會議に參列の爲め目下入京中の各局長は十二日曾禰副統監に面會の爲め統監府に參集したるが曾禰副統監は地方財務の執行に就き懇切なる訓示を爲したりと

### ●勝田理財局長出發

勝田理財局長は既報の如く昨十四日午前九時十分平壤行列車にて出發せしことは昨報の如くなるが同氏は昨夜平壤柳屋旅館に一泊し本日安東縣へ向け出發せる筈なり

### ●東拓總裁の出發

既報の如く宇佐川東拓總裁の一行は昨十四日午前九時南大門發汽車にて東上の途に就きたるが石塚總務長官代理、統監府各高等官、李首相、趙農相、兪漢城府民會長實業家及各部高等官等數百名の見送人ありたり

### ●各局長の水原行

目下入京中なる各財務監督局長は水原模範場を視察すべく今十五日出發の筈なりと

### ●兩稅の納稅告知書

新三稅の中家屋稅及酒稅は今年度より實施さるゝ筈なるが本旬は第一期徵收期なるを以て度支部は內外人に對し夫れ〳〵納稅告知書を配布し居れりと

### ●度支部の豆粕配布

度支部にては現在技手の配置ある地方金融組合二十ヶ所に對して豆粕五枚づゝ合計百枚の配布を爲すべき內議中にて三井物產會社より其の手續を爲すべき筈なりと

### ●太田守備隊の變更

鎭安守備隊步兵第四十七聯隊第六中隊は京釜線太田守備隊となり、太田守備隊第四十七聯隊第十中隊は鎭安守備隊となり十四日太田に到着したりと

### ●內部の寄附取締

從來地方官民には公共事業費として人民より寄附金を募集し居たるが既に地方稅法實施の今日に於ては內部大臣の認可なくして猥りに寄附金の募集を禁じ今后は最重なる取締を爲すべしと

### ●農事改良の連絡

地方金融組合は從來財務監督局の監督を受け地方金融の圓滑を圖ると同時に農事の改良に就いても努めつゝあるが農商工部と度支部にては今回更に協議を爲したる結果一層農事の改良を計る筈にて其の連絡を密接にすべしと云ふ

### ●鴨綠江木材使用

韓國政府は今年度に於て各部廳舍其他地方官廳舍の新築を爲す計畫なるが其建築費は二百五十餘万圓に達する由にて建築材料は悉く鴨綠江木材（營林廠）を使用すべく材積は七萬尺價額七十萬圓位なりと云ふ

### ●地方農民の窮狀

地方農民の貧困甚しきは豫想以上なるが群山地方にありては純小作農の多き地は別けて甚しきが如し彼等は春末に至れば多くは食料乏しく山野の草根を食して漸く飢餓を免かるゝ等其の慘狀憐れむべきものあり已に苗代時季に迫りたるに地方によりては小作人中籾種なくして苗代の播種に差支へ居る向きもある由

### ●各部本廳舍新築

各部廳舍中學部本廳舍は既に新築落成し他部は過般來度支部建築所に於て工事設計中なりしが此の程製圖竣了せし由而して內部、農部の兩本廳舍は愈々來月初旬より工事に着手すべしと其の設計は內部は總煉瓦二階建二百五十坪農商工部は同じく煉瓦二階二百坪にて位置は農商工部は明治町元衛戍病院跡內部は現廳舍の前に決定したる由尚法部も今年中に新築する筈なるも目下設計中にて位置も確定し居らず度支部は本廳舍に增築を爲し軍部は新築せずとの事なり因に內部農部の新築費は三十萬圓の豫算也と

### ●親睦會次第

明十六日午後一時より開催さるべき日韓人親睦會は昨日迄の出席申込者實に日韓人を合せ三千を以て算する由なるが會場の景福宮は目下一面の芝生青々として周圍の松林緣を含み一日の清遊地としては眞に好適の場所たり而して之が次第は過日大略を記せし故重復の嫌あれども左に詳細を掲ぐべし

一、會場　景福宮
一、日時　五月十六日午後一時開會（爆竹を以て報す）
一、日韓人發起人總代の開會辭
一、我が天皇陛下及び韓皇の萬歲を三唱す
一、右了て模擬店及余興開始

模擬店　ビール四ヶ所、日本酒店一ヶ所、烟草店三ヶ所、壽司店三ヶ所、うどんそば店二ヶ所、田樂店三ヶ所、朝鮮そば店一ヶ所、茶店一ヶ所

余興　日韓人藝妓の手踊、江川萬吉一座の手品、同一座の清國人手品、會員の綱引、同スプーンレース、同旗取競爭、同土器破、素人相撲、其他多數

樂隊　日本軍樂隊、宮內府樂隊、朝鮮古樂

注意　前日迄に入會を申込まざるも其場所にて申込差支なし、婦人の參會も差支なし

服裝は隨意、但し見惡からざる樣注意の事

## 漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺
二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘
但竪橫自由の事
三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月　京城新報社

### ●民團歲出入豫算

（四十二年度各居留民團）

歲出入豫算左の如し但京城は屢に掲げしを以て之を省く

▲仁川　一般會計歲入經常部十萬二千五百十二圓臨時部四百七十七圓計十萬二千九百八十九圓歲出經常部七萬九千七百七十六圓臨時部二萬三千二百十二圓計十萬二千九百八十九圓特別會計歲出病院三萬千七百九十六圓

▲釜山　一般會計歲入十八萬三千五百九十六圓臨時部十萬八千四百八十六圓計二十九萬二千七十九圓歲出經常部十三万四千四百十四圓臨時部十五万七千六百六十五圓計二十九萬二千七十九圓特別會計歲出水道三十九万二千九百三十圓阜堀鑿海面埋立三十二萬四千三百二十四圓市區改正二萬四千百十一圓

▲馬山　一般合計歲入經常部二萬三千二百一圓臨時部四千九百圓計三万五百一圓歲出經常部二万三千四百五圓臨時部七千六十九圓計三萬五百一圓

▲木浦　一般合計歲入經常部二萬九千八百七十圓臨時部七百圓計三萬五百七十圓歲出經常部二萬六千百九十六圓臨時部三千六百七十七圓計二万五百五十圓特別會計歲出水道四萬六千七百三十九圓

▲群山　一般合計歲入經常部二萬八千五百九圓臨時部一万千八百五十圓計四萬三百五十三圓歲出經常部二万七千六百七十一圓歲出臨時部一万二千六百八十八圓計四萬三百五十九圓特別會計歲出水道十四万六十二百三十九圓

▲鎭南浦　一般會計歲入經常部一萬八千七十一圓臨時部五十四圓計一萬八千六百六十四圓歲出經常部一萬六千四百四十四圓臨時部二千三百二十圓計一万八千七百六十四圓

### ●慶南陳列館と出品

慶尚南道觀察府晋州に於て物品陳列場を設置するの計畫あることは豫て聞く所なるが其の後同會議所に於ては觀察道の依囑により出品方勸誘中なるが韓人向雜貨其の他貿易品農產物品製造工業品等の出品應募頗ぶる多數に上れりと

### ●統營の有望事業

從來統營在留者の意見を聞くに同地に於ける有望事業として認むるものは漁業は勿論のことにして之に次ぐは製網事業なるが未だ此點に付て着眼するものなければ最も有利なる事業と思はる

### ●海產物輸出と相場

銀杏草、天草等の釜山への出廻は弗々なり布海苔はまだ盛出期に至らず而して客月中釜山より輸出したるは布海苔は二三三五二斤（價格一圓二十二錢）天草未詳（價格二圓十四錢）干鰯五〇二七二斤（一圓四十錢）の平均相場なりと

### ●中村局長の演說

中村農務局長は十三日度支部にて開會中なりし財務監督局長會議に臨み一場の演說をなしたる由なるが其の演題は地主と小作人との關係、明治初年に於ける日本農業改良方法の批評談等なり

### ●度支部大臣の招宴

任度相は目下入京中なる財務監督局長を今十五日午後六時より翔翠樓に招きて晚餐會を開く筈なるが鈴木司稅局長及其の他の度支部高等官も參列の筈なりと

### ●俵學部次官の招宴

俵學部次官は大學時代の同窓生勝田理財局長、永濱稅關總長落合會計檢查官等を十三日午後六時翔翠樓に招き小宴を催したる由

### ●故金山書記官追悼會

統監府書記官故金山尙志氏の第三回追悼會は十三日午後四時半より明治町淨土宗開敎院に於て開かれたり

### ●久田能島兩氏送別會

時事新報社京城特派員久田宗作氏及元日本電報通信社京城支局主任能島進氏の送別會を明十六日午後六時より花月樓に於て開催すべしといふ

### ●第二回刑事懇親會

在京城憲兵及警察官刑事は今十五日午後四時より明月樓に於て第二回懇親會を催はすべしといふ

### ●鶴岡書記官の歸任

平壤勸業品評會へ出品の爲め出張中なりし鶴岡農商工部書記官は十二日歸任したり

### ●大韓新聞社長歸京

渡日中なりし大韓新聞社長李人植氏は十二日歸京したり

## 公人私人

▲德永斌（光濟號機關長）十三日仁川へ
▲佐々木唯一（東亞烟草會社支配人）三日月旅館へ投宿中十三日新義州へ
▲三增條吉（馬山理事官）同日歸任
▲三輪政一（水原居留民總代）十三日歸京
▲前原嚴太郎（澁澤家支配人）天眞樓へ投宿中十三日釜山へ

## 近事片々

▲曾禰副統監沿岸視察の途鬱陵島に寄港七百の同胞が在留せるを見て大に喜びしと
▲同胞多數の在留を見て喜ぶは人情也人は生れ乍にして帝國主義を持する者なる理
▲副統監にして此考を以て對韓政策を行はゞ帝國の經營は長足の進歩をなすべき也
▲地方の實況は排日に偏せずと曾禰子語るとは異乎事實ならば甚だ皮相の觀察のみ
▲排日的氣風地方になしとは例の歡迎に依りてトする所の觀察の結果ならん乎
▲眞個に實況を觀察するは黃門光圀卿的の行脚か或は青砥藤綱の如き巡錫を可とす
▲伊公常に大隈伯の統監政治辨護を非常に高義として感謝すと何處迄も人善し也
▲曰く一部の人々は國家を眼中に置かず統監政治を非難するには甚だ困ると御最也
▲韓人に對し政令上頗る害ありと之が抑も伊公の對韓政策を誤る所以と氣が付ぬか
▲高義に感謝するも大隈伯は絕對に伊公の政策を讚めては居らぬ隨分非難して居る
▲隈伯曰く對韓策を保護政治の上に樹立したるは根本的の大失策也と然り大誤謬也
▲曰く民團制副統監設置次官制度も亦大なる失敗也と伊公たる者少しく省みて可也
▲斯くても隈伯の高義に感謝して他の批評者のみ困ると云ふが余り沒要領の言草也
▲全体批評せらるゝが困るならば斯る失敗のなき樣にするが肝腎好で惡評する者なし
▲京城日報は露紙極東の觀光團に關する記事を揭載して頻に辨解をなす所は面黑し
▲伊公が李完用に一書を送りて觀光團を送らしめたりとの事を滑稽也として笑排す
▲殊更に之を吹聽するは何だか語るに落ちとかの諺に見へはせずや余りに小心千萬
▲伊公が關係したか完用君が盡力したか統監が探助したか否は知人ぞ知る辨解不要
▲賣藥健腦丸の[illegible]廣告に人物投票の新案出で政治家に伊藤公軍人に東鄕實業家澁澤
▲小說家に幽芳俳優に雁次郎が最高點とは面黑い賣藥廣告投票に茲等が相當なり
▲ル氏[illegible]に獅子三疋を捕へ亦犀と格鬪して辛くも生命を拾へりと鬪者の面目躍如

●當世女郎氣質（下）

△色男以て奈何となす

夜は次第に更けて、男は淋しき一間の裡、「何時まで人を待たせるだろふ、明日にも此樣を出て行く身が、他の客なんかどうでも可いぢやないか、エーツ自烈たい、ほんとに早く引揚げれば可いに」と彼れは唯だ一身を焦ちつ、今か今かと張之助をのみ待ち焦がるゝも、實に彼れは黃金の力を以て世の何物をも動かし得べしと速斷せしが故に、張之助の一身は最早や既に我が掌中にある如くも感ぜるなりき、やがて襖を開けて這入り來りし張之助はツカ〳〵と男の前に坐りつ「今晩は」と何時になく無愛想なり「だいぶ待たせるにも程があるぜ」と愚痴れども彼女は空吹風に聞き流して「ダーク好い心持だ」と酒臭き息を宙に吹きかけ「御自分樣ばかり心持が好いもよく出來たね、少しは待つ身にもなつて見るが可い」「大きな世話だ……」と男は呆れて、「大きな世話だ……それは今夜何うかしてゐるのぢやないか」「別にどうもしては居りませんよ、何うかして話して居ります」「はい、それが厭人ですよ、それが厭」と後は默して顏をそむけり。苦し夫れ普通の男子ならんか、斯くまで侮辱を受けては默して許るすべきにあらず、直ちに起つべきに、飽くまで臆病なる主任殿はノンベンダラリ笑ひに紛らしつゝ平然たる面憎くさ、それに苟くも主任殿とも云はるべき身が襖の隙間より他の客の靜室を覗き見るとは男子たる性根にあらず、妾假令黃金を積むとも、妾能く斯の如き男のために落籍さるゝを、いさぎよしとせんや、と張之助は益々愛想を盡かしたるも、夫れとは知らぬ主任殿は、一か八か今夜の中に話を取りきめたいが、れ前の心は何うだ、爾うと昨夜話したではないか」と得意なり「何をですか、そんな事言つて困るぢやないか」「だつて何だか分りませんもの「あの、うれ前を落籍して、貴郎と夫婦になるのですか」「さうだ〳〵」「……ですが妾は、御斷りしますよ」と言ひ放てり、あまりの事に主任殿は夢見る如く「什うしたさ」「厭ではありませんけれど、妾は」「何故に」「まあ貴郎よりは、もつと立派な旦那があるのですよ」「それでは、どうしても厭だと云ふのか」と念を押せば。「はい、どうしても厭で厶んす」聞きすましたる主任殿は、見事男の面目玉を踏み蹂され、初めて無明の夢より醒め流石に無念に堪へざりけん、荒々しく席を蹴つて、其夜仁川へ赴任せりとは、阿呆も禮に來さうな話、天下幾多の色男諸君、省みて奈何となす（なほり）

●五百年來の强盜

▲被害價額實に數萬圓

三四年前京城を中心として其附近に出沒し凶器を持して民財を劫奪しつゝありたる數十名の强盜團ありたるが當時警視廳訊問課及西部警察署に於ては如何にもして之れを逮捕せんとて種々搜査の末十五名の强盜を捕縛し裁判所に送致したるが其捕縛されたる强盜の語るには吾等强盜團の仲間に於て金議官、安主事、李主事と稱するものありて彼等は數年前より强盜となりたるものなるが其機敏にして巧妙なること驚くばかりにて實に五百年來の大强盜なりとのことに其筋に於ては一層搜査を嚴密にし百方之れが逮捕に力めつゝありたる際時しも八十餘名の强盜團たる黑袴團の出沒して被害日に甚だしきに依り之れが搜査に力を盡し遂に昨年二月に於ける黑袴團珠數繋ぎの大手柄を見るに至りたるも爲めに金、安、李等の搜査に全力を傾注する能はざりしが爾來訊問課及西署の刑事は必死となりて强盜團の横行する地方を注視し居たる處十四五日前に於て是亦强盜團中の首魁自稱前總巡（警部のこと）崔某を逮捕したり崔は常に一進會評議員又は漢城府囑托などゝ法螺を吹き身には立派なる洋服を着し斷髮の頭に鍔廣帽を被りステッキを打振りつゝ白晝を横行せる樣は一見ヨポ紳士の風采なりしと而して彼崔は七八年前より江原道、平安道及京城に於てピストル又は他の凶器を持ちて民財を强奪しつゝありたる大强盜なるに依り其筋に於て彼れの逮捕を以て天幸なりと愈々搜査の手を進めたる結果五百年來稀れに見るの强盜金議官、安主事其他を捕縛するに至りしが彼等は平壤生れ當時西署壇硝橋强盜宿專業の金某方に潜伏して强盜を働き其の金品を以て平安及江原道等に於て土地を購入し居たりといふ尙金、安等が一昨年より强奪したる金品中今日迄に判明したるもののみにても一萬圓以上の由なれば彼等が當初よりの强盜物品は實に數萬圓の上なるべく又昨年二月に於ける東大門の暴徒なりとて民財を强掠したるも彼等の行爲なるが事未だ連類搜査中なれば其大要のみを記せり

●强盜二人の就縛

▲村民の爲めに捕はる

仁川府内島洞面長子同紐商崔春澤方に一昨日午前二時頃濟州島生れの禹君悅（三八）安降守（三六）李春市（三八）の三人組の强盜押し入り主人春澤の双拇指を縛して有り金を出せと强迫したるも春澤の金の無きより眼鏡及び笠を出したるに賊は之れを强奪し三人寄つて集かつて春澤を毆打し頭部に重傷を負はせたる后金の有りさうな家に案内せよと脅迫したれば春澤は無止同伴にて農家尹敬先方に至り戸を打ち碎きて入り込みたる所敬先は驚いて裏口より逃走し伜の玉南のみ居たりければ之れを縛し例の口調にて玉南を脅迫し紙幣銀貨取り混ぜ二十四圓を强奪し這度は同村の雜貨商尹何某方に闖入したる所金なかりしかば書類を横奪して去らんとせし所主人の何某と云ふは村中での力自慢の男なれば三人の隙を窺ひ禹及び安に組み附きたる所に先程より此の騷ぎに集ひ來たる附近の韓民は何某の勇氣に勢を得て棍棒などを持つて滅多打ちに打つて掛かりたれば賊も多勢に無勢到底敵はずと見たりけん朝鮮出刀を持てる李春市は漸やくにして逃げたるも禹、安の兩人は大格鬪の末終に村民の爲めに打ち据ゑられ捕縛せられ出張せる藤崎及び李巡査に引き渡したるが仁川本署に護送の途中安降守のみは絶息し禹君悅は目下仁川署にて取調べを受け居たるが同村附近は右强盜の捕縛せられたるを聞いて皆枕を高くして安眠することが出來るとて喜び居れりと

曾禰副統監閣下古都を巡覽せられしを聞きて　年秋

いさとはん峰の松風司人のきませし古都を何とこたへん

君とはゝこたへんものは峯の松すきし昔しの古都のさま〳〵

副統監は左の如く答へ玉ふへし　古狂生

曾禰な事問すと醫よ古都さらに人に知らるゝ時をこそまて

●出來した〳〵

▲模範娘のヒステリー

明治町と許りでは何の邊だか一向解るまいが何んでも角の郵便函から一軒二軒三軒四軒目の雜貨屋といへばうん那れかと首肯かるゝなるべしサテ其所の雜貨屋に當年取つて二十四月から割れば二百八十二個月の星霜を經た一人の娘ありと思召せ、顏の輪廓造作は速成工事かソレとも粗製濫造の結果か知る由なきもマヅ誰が眼にも「不」の字の方なるが此の娘にはマツ珍しくよく一人の娘心立てばナカ〳〵感心に仕へて朝晩の煮炊きは勿論店の仕入から世帶のこなしに甲斐々々しく立働くのみならず髮容にも頓着せず專ら老父への孝養をのみ思ひ居る感心な心掛けに近所のれかみさん達は口々に賞めそやし「彼の娘は感心だ」「れ竹さんのやうな娘はない」と噂し合ふ中にも那れで顏さへ十人並ならば内の伜に嫁はしてもの親心の慾望の起るも無理ならぬ次第なるがさて此の娘何ういふ譯か近頃旹々として一室に閉ぢ籠り家事の事は勿論店の方も一向に顧みざるより父は痛く心を惱ましそれ醫者よ藥よと手を盡せしかど更に回復の樣子なきにぞ父は老の身の心配のあまり去る賣卜者の處に到りて娘の病氣をトはせしに、ソレは決して心配にはならず、ツマリヒステリーといふ奴にてツマリ戀ひ焦れて居る男にさへ連れ添はすれば娘の病氣は立所に全癒すべしと賣卜者の言葉に老父は俄に眉を顰め早退家に歸りて娘に向ひソレとなく思ひ病ふ節を訊せしに娘は何うあつても白狀せず老父もホト〳〵弱り果てしが幸にも娘の胸の中をよく察し居る近所のれかみさんが此の事を聞き知り娘の病氣の癒るやう又老父も安心するやう取り計ひ中なりとはでかした〳〵

●妻子を縛り上ぐ

京城櫻井町四十七番戸安藤又三郎（五二）は一昨朝些細の事より激昂して長男直次郎及妻靜江（三四）の兩名を自宅に於て後手に縛し上げ一室に閉ぢ込め散々毆打しつゝありしを靜江の姉に當る池邊ともと云ふが聞きつけ早速同人の宅に赴き妹靜江を救ひ出さんとせしも此れ又前記又三郎のために面部を毆打されたりとの急報に依り南部署より警官出張して又三郎を引致し懇々説諭の上放還したりとは厄介な親爺殿なり

●病名を隱す

原籍長崎縣南高來郡南串山村平民豆腐製造業本村長造（三六）は去月廿七日頃發病し以來本町八丁目開業醫山中彌太郎氏の診察を受け病名不詳の由云ひ居りしも一見疱瘡に彷彿たるより銅峴分署より警察醫山本喜市郎氏をして診察せしめたるに全く疱瘡なりしより患者は直ちに靑坡病院に收容し前記醫師山中某は目下銅峴分署にて取調中なりと

●富田民長容態

仁川民長富田耕司氏の其後の容態を聞くに一昨夜は少しく發熱して身体に異狀を呈したるも昨日は又熱去り舊に復したる由なるが茲暫らくは病体に變化を來すこと屢々あれば何れとも云ひ難けれども此儘經過するに於いては生命には別條なかるべしと云ふ

●毒藥を仰ぐ

仁川府内多所面松林洞居住の李壽兼と云ふは一昨日午前毒藥を呑むで自殺したれば仁川警察署よりは警官出張檢死の上其の原因取調べ中なり

●ぶらつ記（九）　ぼく

讀者諸君、面白くもなきことを數日に亘りて書き附け眼に映り、頭腦にうかびし其の儘を臆面もなく打っつけたるにも拘はらず一度もモウ止せ厭だ〳〵のれ叱りもなかりし所を見れば御愛讀下されたりしこと〻隅から隅までツラリズーイと深く御禮申上ます。

叱られぬから夫れで宜いはと自惚れて此所許二三日も續けたらば夫れこそ屹度叱られるに極まつたり、同じ引つ込むものならば其數味噌を附けない内に、引き退るのが上分別と、編輯局の皆樣が秘密で敎へて下さつたから、宛も〳〵自己の鼠見から、出た振りをして茲に一先づ筆を擱くとぞしぬ。

何日出しますと日を期して、申す譯けには行きませねど二三日間をれきまして、居留地域の各商店のた店の衆が客扱ひの特色を實地に當つて驗し試て一點飾らず其のまゝを紙にうつして買物日記と名けて三面の餘白を籍して下さいなど猫撫で聲で交渉中也、然れば承諾して下されば其の日からして徐々と書く心算りなれば目間綴くも御愛讀をと自ら點けた大提灯に足元の明るい内、又々れ目に掛る迄、へイ左樣なら（終）

演藝界

▲壽座　田宮一行本日の替りは「北門警備兄弟兵士」にして其配役左の如し　佐藤大佐（松村）支那人（大山）れ竹（藤原）山岸芳雄（篠田）中田大尉（阿部）露國人（東郷）熊五郎（高山）佐熊曹長（中村）山岸靜子（小堀）山岸武夫（田宮）

▲永樂亭　吉川圓朝一座浪花節讀物左に　生首れ仙（萬遊）いかるが平治（小三光）落語（福龍）赤穗義士傳の内大石内藏之助（圓朝）

▲龍山座　一兩日中より横山研太郎一行の新派劇一座にて開演の筈なり



平民文庫

捏造中傷無用のこと

小便も亦御斷り申候

▲長谷川町壽亭のだ靜さん僕の一度の注意で彼のハイカラ姿を遠ざけたのです實に感心其處がれ靜さんの値のある處だ（岡惚生）▲龍山東柳町某官舍に居る或るハイカラの妻君は實に雇人を酷使する事は甚だしいものである「雪の日や彼れも人の子樽拾ひ」位の心掛け同情がなくては駄目だ（同情生）▲僕は昨今當地へ來たての山出し男ですが淫賣婦や藝娼妓專門の危險な口入屋でない確實な口入屋を御敎示下され度し（小膽男）▲小膽男君よ京城の口入屋が悉く不確實と云ふこともあるまいが不幸にして私は其最も確實なる家を知りませんが我社の無料廣告欄掛りへ御依賴になつて廣告して貰はれたら宜しからうと思ひます（係）▲妾事煩悶あり本町五丁目三一舘にて料君不足にも拘はらず叮嚀懇切に易斷及説明を受け開悟致今は元氣よく活動致居候實に舘主の博識と同情心の深きには感服致し候序に記者樣舘主は獨身ですか又は有婦ですか（廿一才女）▲廿一才女さんよ其の邊のことは民團役所の管轄にして取て小生の關り知る所にあらず（係）▲武田式焚附火玉は明治町牧野雜貨店に賣り居ります私も一兩日前より使ひ居ります（鐵道管理局官舍女中）▲貸した金が返つて來た時は貰つた樣な氣がする殊に當てに爲ない時の程尚は嬉しい（正直者）▲總て後ろ姿は一寸人を迷はせる者だが自轉車乘りが急いで走る時の后ろ姿程見憎い者は無らう恰で惡戲つ兒がダダを捏ねて地踏踏んでる樣だ（惡口生）▲靑年が指輪を箝めて得意になつて居る特に女の前杯に行くとわざと見せる樣にする野郎があるウンと挨つて行り度いなア（頑固生）▲壽座が此ん度改築する相だが願はくば東京流にして貰ひ度い僕は毎度云ふ樣だが大入場と一幕見を排ふ事、奈落を造ること等は大なる條件だ（芝居狂者）▲明治町の○○の模範店員さん開進亭の小笑に餘り逆上て居ると帳簿に穴が空きますよ（注文取り）▲捏造にはあらざるべきも疑を存して○○となし置く（係）▲一檢事と號する君に告ぐ、御投書は見ましたが何らか右樣のことは直接其社へ問尋せられたし（係）▲長谷川町の末廣の藝者で名は何んと云ふか知らないが往來でれ客に惡戲をされたと云つて口惜し泣きに泣いて居た、藝者さへ止めればれ前さん達と同じ人間だと云つて居たが止せるものなら廢業し玉へソシて僕の宅へ來玉へ（旭町基督傳道館内）▲長谷川町の幾代と云ふウドン屋は安くて甘味い其上主人夫婦が極親切だから食ふ物が益々甘味い諸君よ嘘を思ひ給はゞ驗して見給へよ（實驗生）▲ソンチョ其所邊で韓人を余りオダテ上げるものだから全體に韓人が增長して困る人間扱ひをするのも程がある（求女）

廣告

韓國駐剳陸軍倉庫

一、研磨精米 八百石
一、研磨精米 七百石
但入札保證金ハ見積價格百分ノ五以上
右購買ス入札者ハ當庫ニ就キ契約書標本等熟覽ノ上五月三十一日午前十一時入札スヘシ即時開札ス
本契約ハ當倉庫長土屋善兵衛擔任ス
明治四十二年五月十一日
釜山 龍山陸軍倉庫

古建物其他賣却廣告

京城所在各所古建物及古建築材料等五月十八日入札ヲ以テ賣却ス詳細ハ本町一丁目兵分遣所東隣門前廣告ヲ見ヨ
明治四十二年五月十四日
韓國駐剳軍經理部

廣告

去る三四兩日間京仁各新聞紙上に本社の名を以て掲載せられたる社員能島進氏に關する廣告は本社と京城支局とを混同したる錯誤より生じたるものにして本社の干知する所に無之同氏は今回本社詰と相成り候間爲念廣告候也
明治四十二年五月十四日
東京市京橋區瀧山町八番地
株式會社日本電報通信社
專務取締役 光永星郎

廣告

私儀從來日本電報通信社京城支局に勤務罷在候處今回本社詰と相成候間此段廣告候也
追而本月二十日頃當地出發東上仕候間來共不相變御交誼の程奉希候敬具
明治四十二年五月十四日
日本電報通信社員 能島進

大阪新報 大賣捌所
京城佛國領事舘通 大成社

開業御披露

御料理 いねの家

京城南山町三丁目（掬翠樓隣）
電話千百十六番

金四錢



京 江 廣

眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍円に限る七十二種の眼病全

●馬山浦の密輸出入　馬山浦にては近來密輸入盛にて去月も酒類の大密輸出ありたるに過日又々大仕掛の密輸出をなさんとて計畫しつゝある事を早くも稅關の知るところとなり目下大警戒中なりと云ふ

●漁業出願と鎭海灣　鎭海灣は有名なる鱈漁場なるが本年はまだ少し漁期早やけれども各網主は過日來漁夫を引連れ毎日數組宛馬山に來り漁業出願等の手續中なるが本年は氣候の關係よりすれば豐漁ならんと云ふ

ふ目下は鯖の漁期にして毎日市場に上るも

●郡守資格審査會　内部にては昨十四日午後郡守資格審査會を開けり

●釜山民團造林設計　釜山民團にては民團區域内に於て造林に適當なる地をトし一二設計を試み或は拾年間に亘るものあり今明日頃韓國政府へ出願すべし

●山口縣の出漁奬勵　山口縣にては韓海出漁奬勵をなすため出して漁場の調査

●福岡縣の漁業　福岡縣の漁業組合長其他の關係者は韓國の漁業根據地施設に就て目下協議中なるが福岡縣

平棋三郎被上訴人鬼頭愈三郎　二、運送賃

●天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）南西の風晴曇

(四) (第三種郵便物認可) 明治四十二年五月十五日 京城新報 (土曜日) 第九百九號


各種洗濯石鹸 專門製造販賣

用途一鐵工、鑛山、水道、鐵道、精製工業用

朝日石鹸製造所 (電話九七三番)

▲無料紹介欄▼

人事部

雇われたし 家族少なき家を望む十九歳（氏名在社）

年廿五体強壮簿記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社(二四〇)

長崎縣人 佐藤コノ 上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田商店迄御報を乞ふ(二四五)

女中入用 年齢問はず清潔好きの者身元保證人を要す 南山町一の四七 月報社篠塚

●雇入 十五歳以上二十歳以下丁稚至急入用 龍山元町三 日韓組

●教授 禮法茶道活花琴教授す 旭町二の七〇 丸目幸琴(二五二)

小僧入用 十五六歳にて身体強健なる希望者は本欄係へ申込まるべし

物件部

貸家 若草町一温突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戸付家賃二三五〇 若草町一の一二九矢島(二四一)

貸家 若草町一温突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戸付家賃二三五〇 若草町一の一二九矢嶋(二四二)

貸家 若草町一温突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(二四三)

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし 氏名在社(二四七)

●求貸二階 南大門より本町三丁目迄の所にて眺望のよき二階二間(床、押入付)格安にて借受たし 姓名在社(二五一)

●賣却 古寫眞器附屬品共安價にて賣渡したし 氏名在社(二五三)

醬油釀造場 釀造道具一切付格安にて賣渡したし 山内編輯

廣告

京城曙町(電話二八七番)

統監府御用 宮内府御用

軸物表裝 金銀屏風 額面襖壹式 壁張天井張

石川表具店

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸 横小路 (元花屋跡)

▲懇切の下宿▼

かめ屋

謝罪廣告

自分儀從來當地に於て酒類營業罷在候處當山邑太左衛門氏釀造の清酒櫻正宗の名聲往々發揚せる折柄或る奸商よりの勸めに任せ該櫻正宗の商標を盜用し偽造罐詰を致し居り候處今般端なくも貴店に於て御發見に相成り既に其筋へ附與告訴の告發を提起可相成の處後來斯る不正行爲を致さざる旨を誓ひ特別の御斗らひを以て被下候段重々も寛大なる御處置に對し衷心感謝の至に堪へず茲に以紙上謝罪廣告仕り候也

明治四十二年五月十三日

京城本町二丁目 西山品藏

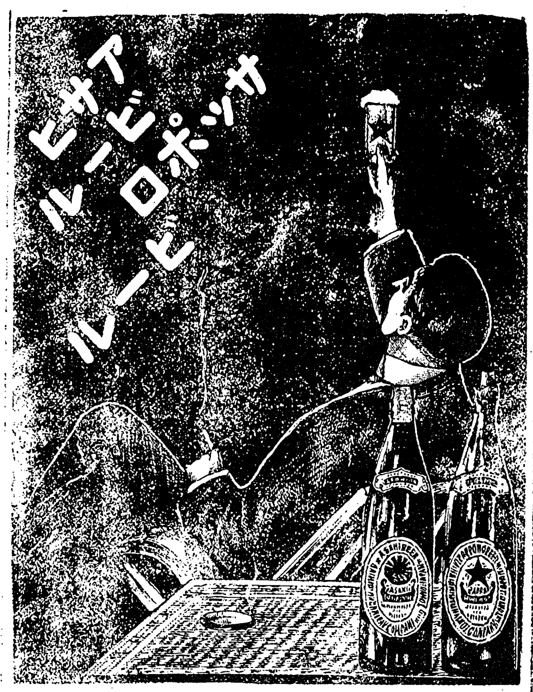
京城南山町四丁目 櫻正宗山邑支店御中

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立● 資本金一千萬圓●

京城代辦店 本町四 山口吳服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番




京城第一の娯樂場

廿錢均一 晝夜無休

午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額

電話千百三十七番

京城座

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

木上商店 (電話二一五一番)

料理酒、正宗、精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

開業廣告

夫婦ぜんざい あま酒 あめ湯

岸遊亭 旭町一丁目三番戸

待合 かしく 京城壽町二丁目 電話三九番

待合 春日 京城新町一丁目 電話九七番

西洋料理 にしき支店 京城黄金町二丁目 電話七百二十九番 出前仕候

館



卸 小賣

新茶賣出し

富士の里本舗 京城本町五丁目 電話九六七番

九州セメント 上等生石灰販賣

京城南山町一丁目 電話三四四番

山村商店

龍山元町二丁目 電話三四八番

中村運送店

陸軍衛戍病院 大韓醫院 特定御用

牛乳

京城南部外 花井牧場 電話一〇五六番

醫術開業廣告

五月一日より明治町六丁目共愛醫院跡にて

眼科 内外科 花柳病科 特に婦人科

瀧澤醫院

東京帝國大學醫科大學 河本博士の下に多年眼科を修め 同醫學部耳鼻咽喉科卒業

瀧澤喜太郎

元祖 消毒牛乳

千山牧場

京城大和町壹丁目 電話一三三

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

諸官衙御用品調達 各學校御用品調達

委託販賣

東京 ランバーグ商會代理店

東京 中外アスファルト株式會社代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

東京 博文館發行書籍特約店

東京 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話一三〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

通運 貨物運送 保險 附帶業務 取扱

内國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話九三七番

龍山派出所 龍山驛構内 電話二〇六番



登錄商標 白鶴

特約店

本町六 田中支店 電話七六四番

本町四 前田酒店 電話一三七番

本町五 酒井政平 電話八四番

各官衙御用 新薬及器械調達 京城明治町一丁目 井中為太郎 電話六七〇番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

貨物及船客取扱店 電話十番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 五月 日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午出帆

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 五月二十五日前五時出帆

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月 正午出帆

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

株式會社 百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、秋穗、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、徳島、撫養、洲本、淡路、高知、八幡濱、川之石、宇和島、丸龜、多度津、松山、三津ヶ濱、西條

西海道 直方、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、飯塚、長崎、牛津、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長崎、洲

北海道 函館、小樽、札幌

臺灣 臺北、臺南

清國 天津

韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱申可候

諸傘 並に 提灯類 印入

和洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 大島商店

鴨緑州セメ 末口一尺八寸以 建築業 柴 京城旭町


●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月前金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵税一ヶ月金拾參錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城西署西小門外 京城新報社 電話六七三番